

産総研ふるさとサポーターが お手伝いします!!

産総研職員がゆかりのある都道府県のイベントなどに協力します!!



産総研ふるさとサポーターをご存じですか？

産総研では、都道府県ごとに地縁を有する職員を「産総研ふるさとサポーター」として登録しています。延べ260名を超えるサポーターが皆様の様々な依頼にお応えします。



こんな活動をしています。

講演	各分野に精通した研究者から事務職まで多彩な講師が産総研で行われている研究開発や産総研について講演します。
出前授業	サポーターが学校などを訪れて、出前授業をします。
見学対応	サポーターの母校やゆかりのある地域から産総研の見学施設へいらした学生さんなどにご挨拶やご案内をします。
寄稿	各自治体の出版物などに、産総研の研究開発や仕事内容について、サポーターが寄稿をします。



まずはご相談ください。

ご不明の点は事務局までお問い合わせください。

お申込みは
公式HP
から!!

【産総研ふるさとサポーター事務局】
aist-furusato-supporter-ml@aist.go.jp

<https://unit.aist.go.jp/rcpd/furusapo/index.html> または

産総研ふるさとサポーター で 検索

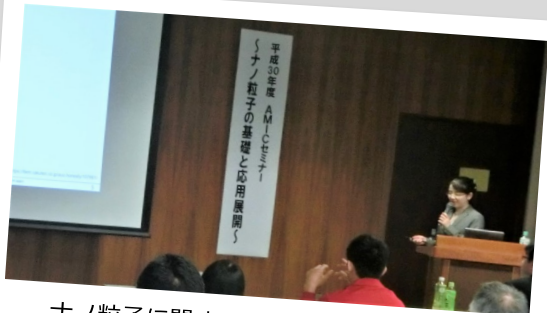
ふるさとサポーターの活動報告から



地元企業の方に向けたIoTに関するセミナーで講演 2018/12 @青森



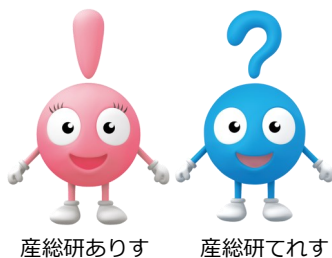
公開イベントのお手伝い2018/8@臨海副都心



ナノ粒子に関する講演 2018/9 @三重



学生に産総研の見学施設をご案内 2018/11
@サイエンススクエアつくば



産総研ありす

産総研てれす

「産総研ふるさとサポーター」への依頼は、公式HPからお申込みいただけます。

公式HPではふるさとサポーターを都道府県別にご紹介しています。

<https://unit.aist.go.jp/rcpd/furusapo/index.html>

産総研ってどんなところ？

日本最大規模の公的研究機関です。その歴史は、今から約130年前の1882年（明治15年）に設立された、農商務省地質調査所に始まります。現在は、日本に3つある特定国立研究開発法人の一つとして、7つの研究領域、つくばセンターを含め11の研究拠点、約2300名の研究職員で、研究開発に取り組んでいます。

代表的な研究成果と用途

- ・PAN系炭素繊維 → 釣り竿、テニスラケット、航空機、人工衛星など
- ・酸化インジウム透明導電膜(ITO) → 液晶テレビ、タッチパネル、太陽電池など
- ・グルコースイソメラーゼによる天然甘味料製造技術 → コーラなどの清涼飲料水など

産総研は「技術を社会へ」Integration for Innovation をモットーに地域との連携に力を入れています。ふるさとサポーターの活動を通じて、産総研を身近に感じていただければ幸いです。